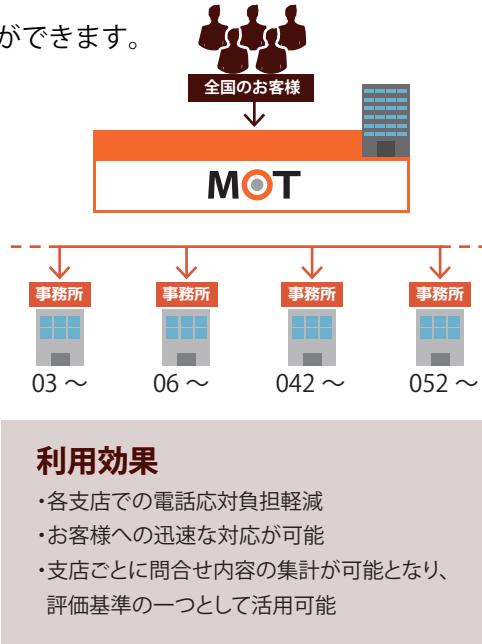
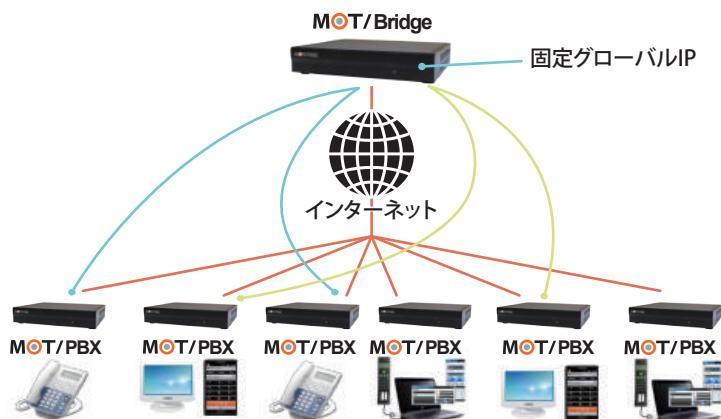


MOT/Bridge 複数拠点の内線化

MOT/Bridgeを中心にMOT/PBXを複数の拠点に設置することによって、拠点間通話を内線化できます。

拠点間通話の例:コールセンターの構築

SOHOから大規模オフィスまで規模に合わせて簡単に構築する事ができます。
MOT/PBXで6拠点以上を繋ぐ場合に必要です。



利用効果

- ・各支店での電話応対負担軽減
- ・お客様への迅速な対応が可能
- ・支店ごとに問合せ内容の集計が可能となり、評価基準の一つとして活用可能

CTI機能(着信POP-UP画面)

MOTクラウドと連動することでCTI機能をご利用頂けます。着信するとパソコンの画面上に相手の情報がポップアップで表示され、発信相手の名前、電話番号、所在地、FAX番号等を表示します。

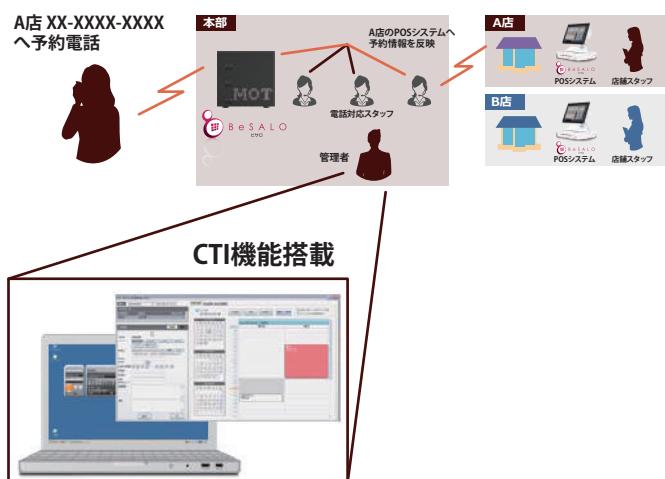
更に自社側の担当者、前回通話者、最終通話時間もあわせて表示しますので、スムーズな電話受付が可能になります。

サロン業向けの例

業務管理を行う本部にMOTを設置することで、電話システムと顧客管理(カルテ機能)を連動させ、各店舗のPOSシステムへ予約情報を同期することができます。

また、CTI機能を搭載している為、お客様からの着信と共に顧客情報を表示し、スムーズな顧客対応の向上を実現します。

各店舗の予約応対を、本部にてコントロールする事で、顧客回転数の向上を実現します。



飲食業向けの例

飲食店へMOTを導入しCTIを利用すると、着信時に顧客情報を自動表示出来ます。以前利用されたお客様であれば、来店履歴・注文履歴・アレルギー情報などが表示されスムーズなご案内が可能です。

また、新人スタッフでも常連さんを把握できるのでお客様対応の向上が可能です。



その他機能の例

構内放送

スマートフォンや卓上電話機から構内放送が出来る機能です。

■特徴

工場や倉庫など広い敷地内で働く従業員へ一斉に通知する事が可能です。
事務所と作業場が遠隔場合や、働き方改革の一環として定時の放送なども行うことができます。
MOT/PBXであればスマートフォンからでも構内放送が可能です。



音声会議

複数の人が同時に会話出来る機能です。

■特徴

遠隔地の社員とも音声会議が行えます。その為、会議の為の移動（出張）が不要になります。
インターネットが通じる場所であればどこでも利用できるので在宅勤務などでも活用が可能です。

音声会議内線グループ



聴話機能

スーパーバイザー（監督者）が対応中の通話を聞いたり、通話者に対して指示出しができます。

■特徴

スーパーバイザーが的確な指示を出すことで、新人スタッフでも簡単に対応が可能です。
オペレーターのみに聞こえる音声でアドバイスが出来るのでお客様をお待たせせずに対応が出来ます。また、1度の通話で問題を解決出来るので顧客満足の向上にも繋がります。



MOT/Phone受付システム

iPadで動作する受付用アプリです。
MOT/PBXと連動してご利用いただけます。

■特徴

- ・総合受付、配達受付、部署代表、所属部署>個人、個人呼出などのメニューに対応
- ・日本語、英語、併用の3パターンから選択可能。
- ・各画面の色を設定で変更可能。
- ・Bluetooth対応の外部音声機器が接続可能。

【利用イメージ】



※画面はカスタマイズ可能です。

